

## 市内169及び170例目（県内244及び245例目）の概要

令和3年1月26日公表

1月25日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに2名の方、市内169及び170例目（県内244及び245例目）となる感染者が確認されました。

この方々は、松江市在住です。年齢・性別につきましては、本人のご意向により公表を差し控えさせていただきます。

169例目の方は、1月23日に38度台の発熱や倦怠感、関節痛の症状があり、翌24日に健康相談コールセンターに相談のうえ、市内の医療機関を受診されました。

同日、自費検査の判定が陽性であったことから松江保健所に改めて相談され、25日にPCR検査を行った結果、陽性であることが判明したものです。

現在、咽頭痛の症状がありますが、軽症とのことです。

発症日2日前、1月21日以降の感染可能期間に、市内の勤務先に出勤されていましたが、不特定多数の方への接客の機会があるような仕事ではなく、勤務先等での接触者は把握できています。

発症日2週間前、1月9日以降の調査期間において、県外への移動歴、ならびに県外在住者との接触歴がありました。

次に、170例目は、県本庁に勤務する県職員の方です。

この方は、1月17日に38度台の発熱や倦怠感の症状があり、翌18日に市内の医療機関を受診されました。

その後も症状が改善しないことから、20日、23日に同じ医療機関を再診、25日には紹介により市内の別の医療機関を受診され、同日のPCR検査の結果、陽性であることが判明したものです。

現在、37度台の発熱、咽頭痛、頭痛の症状がありますが、軽症とのことです。

発症日2日前、1月15日以降の感染可能期間に勤務されていましたが、勤務先の状況等につきましては、この後、島根県の本次人事課長からご説明いただきます。

患者は、保健所の指導の下に自宅で待機し、それぞれ感染症対策を講じた県内の医療機関に、169例目は本日中に入院される予定であり、170例目はすでに入院されました。

今後も調査結果を踏まえ、必要に応じて幅広い検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

松江市においては、新たな感染者が断続的に確認されていますが、緊急事態宣言が発令されている地域のように、感染のまん延が強く懸念される状況にはないと考えています。

引き続き、都道府県が不要不急の外出自粛を要請している地域への、やむを得ない仕事や受験などでの往来の際には、十分注意していただく必要があります。

市民の皆様には、大切な家族や友人を守るためにも、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」の徹底や「三密の回避」をはじめとする、感染しない、させないための取り組みにご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者また医療関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。